



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第2号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第2号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1984, 30(2): 286-286

ISSUE DATE:

1984-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118105>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 2 ACTA UROLOGICA JAPONICA February 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第2号 1984年2月

| | | |
|--|-------------|-----|
| イオンクロマトグラフィーによる尿中尿酸測定（英文） | 小川 由英・北川 龍一 | 147 |
| <i>S. marcescens</i> 尿路感染の現況 | 宮北 英司・ほか | 153 |
| 婦人科的泌尿器疾患：和歌山赤十字病院泌尿器科における 最近4年間の治療経験 | 森本 鎮義・ほか | 159 |
| セミノーマにおける HCG 陽性細胞について | 後藤 修一・ほか | 169 |
| 男子不妊症の統計的観察および妊娠に関する 追跡予後調査（その2） | 磯山理一郎・ほか | 175 |
| 尿路結石 1,500 個の分析結果 マイクロコンピューター使用による集計の試み | 池田 龍介・ほか | 183 |
| 感染をともなう尿路結石の細菌学的研究 | 吉田 修・ほか | 191 |
| 馬蹄鉄腎に合併した両側非同時発生尿管癌の1例 | 細川 尚三・ほか | 199 |
| Malignant priapism を呈した直腸原発転移性陰茎腫瘍の1例 | 奥村 哲・ほか | 205 |
| Buschke-Löwenstein 腫瘍の2例 | 工藤 治・ほか | 217 |
| 染色業従事者に発生した膀胱腫瘍の2例 | 安藤 正夫・ほか | 223 |
| 皮膚テスト陽性を示した CDDP アレルギーの4症例 | 立花 裕一・ほか | 229 |
| 後腹膜悪性神経鞘腫の1例 | 奥村 哲・ほか | 235 |
| 腎細胞癌の膀胱転移と胃癌との重複癌の1例 | 田代 和也・ほか | 249 |
| 副腎腫瘍と思われた有茎性肝細胞癌の1例 | 金丸 洋史・ほか | 253 |
| GZX の前立腺および膀胱壁内移行に関する検討 | 勝見 哲郎・村山 和夫 | 259 |
| 男性不妊症に対する漢方療法効果 1) 人参湯と八味地黄丸併用効果 | 西澤 芳男 | 265 |
| 下部尿路不定愁訴に対する清心蓮子飲治療 | 石橋 晃・三木 信男 | 275 |
| 特発性男子不妊症における hCG/hMG 剤の併用について | 安川 明廣・ほか | 279 |

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
 - (2) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (3) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または 山田・ほか：) と、2 語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および 5 語 (英文) 以内の key words を付す。
 - (4) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (5) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (6) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (7) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修 (主 幹)